ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.2（No.25+15m-CL)	調査位置				北　緯	36 ° 38 ’ 57.5000 ”
発 注 機 関	栃木県烏山土木事務所 河川砂防部			調査期間	2008-11-28 ～ 2008-11-29	東　経	140 ° 08 ’ 22.5000 ”
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	113.10 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 5.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	3.03 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0 ｜ 10	10 ｜ 20	20 ｜ 30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値 0 10 20 30 40 50	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1	110.07	3.03	3.03		凝灰角礫岩 (Tb)	暗灰			新鮮であり割れ目は殆どない コア長は最大L=1000mmの長柱状を呈す 割れ目面は未酸化で良く密着している 岩層はφ5～300mmの角礫を多く含んでいる 岩盤区分はB級程度に分級される			1.00 1.06	50／6			50／6	>50							
2												2.00 2.03	50／3			50／3	>50							11/28
3												3.00 3.03	50／3			50／3	>50							11/29